

Press Release

2019年5月22日

株式会社エアトリ

年金の受給年齢を自由に決められる場合、約3/4が「60代」での受け取りを希望

一方で「70代以上」を選んだ人も約2割！

受給開始年齢を自由に選べるのは約半数が「賛成」

～エアトリが「公的年金」に関するアンケートを実施～

総合旅行プラットフォーム「エアトリ」(<https://www.airtrip.jp/>)を運営する株式会社エアトリ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：吉村 英毅、以下エアトリ）は、20代～70代の男女1,211名を対象に「公的年金」に関する調査を実施しました。

■調査背景

政府は現在、少子高齢化への対応の一環として公的年金制度の見直しを図っており、現在60～70歳となっている年金受給開始年齢を引き延ばすことや、70歳未満となっている厚生年金加入期間の上限の引き上げも検討されています。どんどん変わる年金制度に不安やとまどいを覚えている人も多いかと思えます。そこで、エアトリでは「公的年金」に関する意識調査を行いました。

■調査結果概要

調査1：現在、公的年金は受給開始年齢を繰り下げたり、繰り上げたりすることができることを知っていますか？

若い世代ほど「知らない」が増える結果に。

—70代は96.1%が「知っている」と答えたのに対し、20代では約3割が「知らない」と答えました。

調査2：受給開始年齢を受給者が自由に選べ、その年齢によって受給額が変わる制度についてどう思いますか？

「賛成」が約半数に。「どちらとも言えない」も4割超え。

—「賛成」が46.8%、「反対」が11.7%となりました。

調査3：受給者が受給開始年齢を自由に決めて良い場合、何歳から公的年金を受給しますか？

約3/4が「60代」での受け取りを希望。「70代以上」は約2割。

—最も多かったのが「65～69歳」の43.0%。次いで「60～64歳」(31.4%)、「70～74歳」(16.4%)となりました。

調査4：(年金を受給していない人に対し) 定年後にやりたいことは何ですか？

お金が掛かる「旅行」がダントツで1位に。

—1位は「旅行」(88.0%)、次いで「食べ歩き」(33.4%)といずれもお金の掛かるものがランクインしました。

調査5：老後の趣味に月どのくらいのお金をかけていますか？(年金受給者) かけたいですか？(年金未受給者)

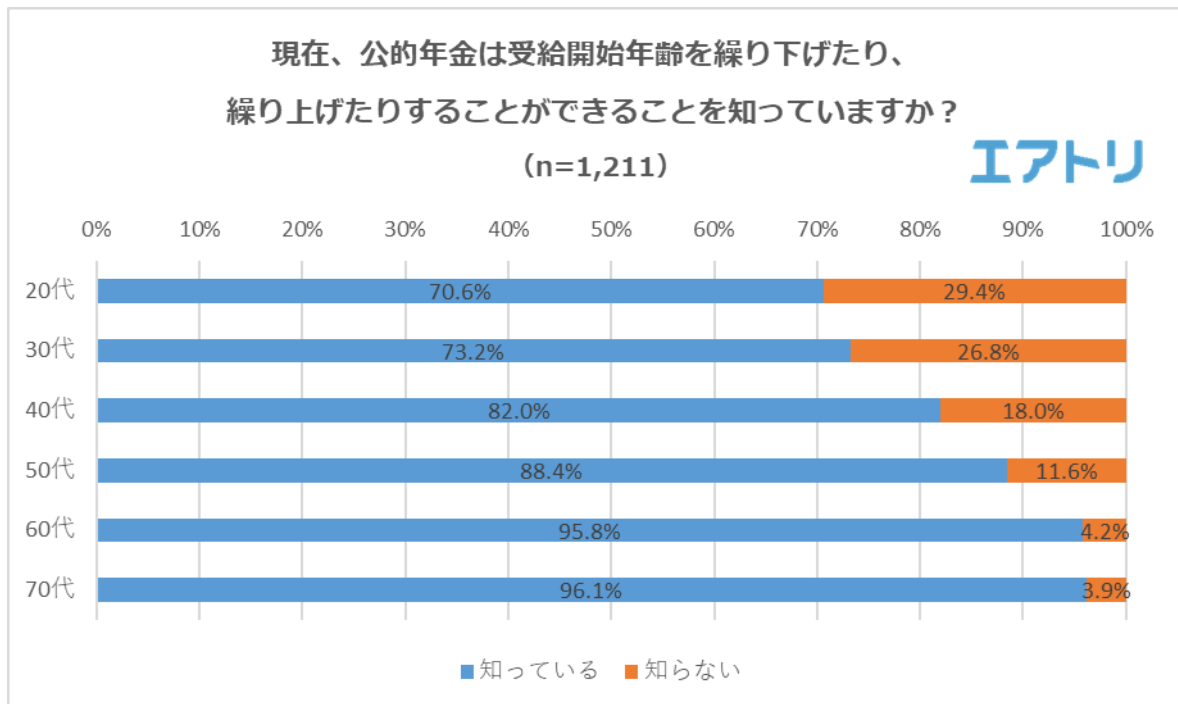
年金受給者と年金未受給者で大きく差があったのは「1万円未満」と「10万円以上」

—「1万円未満」しか使っていない年金受給者が2割いるのに対し、年金未受給者の中で「1万円未満」と回答したのは14.1%に留まりました。反対に、「10万円以上」は年金受給者では6.6%だったのに対し、年金未受給者は9.9%となりました。

■調査結果

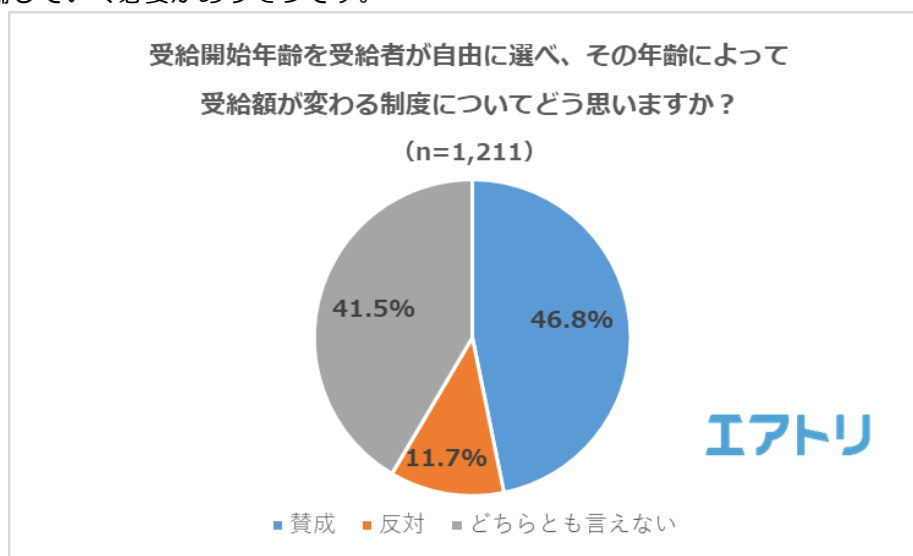
調査 1：現在、公的年金は受給開始年齢を繰り下げたり、繰り上げたりすることができることを知っていますか？

60・70代では9割以上の方が「知っている」と答えましたが、年代が下がるにつれ「知っている」割合は減少。20代では約3割の人が「知らない」と答えました。若年層の中にはまだ自分事として興味を持っていない人もいることが伺えます。これからの未来を担う若者たちの理解を深めることも政府の課題となりそうです。



調査 2：受給開始年齢を受給者が自由に選べ、その年齢によって受給額が変わる制度についてどう思いますか？

「賛成」が最も多く 46.8%、「反対」が 11.7%となりました。また「どちらとも言えない」と回答した人も 41.5%おり、まだまだ議論していく必要があります。



「反対」と回答した人は比較的若い人が多く、自分たちも本当に年金を受け取れるのか不安だという声が聞かれました。また、定年制度が確立していない中で受給年齢だけ引上げされることに対しても疑問視している人が多いようです。

●「賛成」の理由

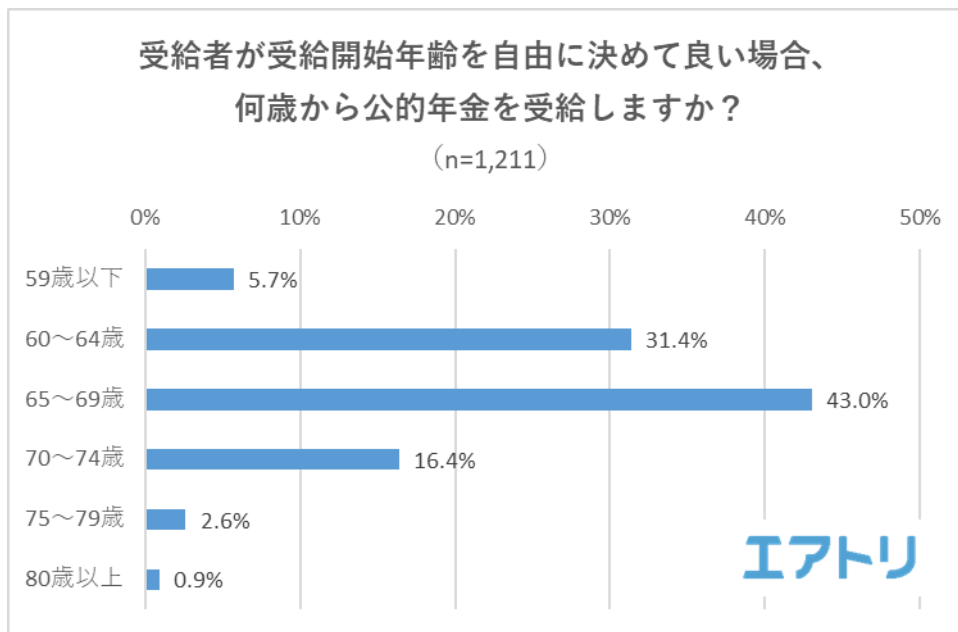
- ・受給額がアップするのは嬉しいし、永く生き続けられるよう健康にも留意することになるから。(60代・男性)
- ・出来る限り働くことが出来る方が生きる張り合いがあり、働いている間年金受給を遅らせることが出来れば社会貢献にも自身の老後にもより良いと思うから。(40代・女性)
- ・自分の経済状況に応じた選択が出来る。少子高齢化で受給年齢の引き上げは仕方が無いが、定年制の引き上げも政策として推進すべきで片方のみでは駄目である。(70代・男性)

●「反対」の理由

- ・引き上げをした所でじゃあ働いて給料をもらえる場所はあるのか？という話です。働く事が出来ない状態で無理な引き上げをするとその人達はどのようにいけばよいのでしょうか？若い人の負担が増えるばかり何も解決しません。(30代・女性)
- ・現在でさえ年金をもらうためのハードルがあがっているのに、自分がその世代になった時、はたして本当にもらえるのかどうか、もらえない気がするから。(40代・女性)
- ・一律受給にすればその分使うお金が市場に出回り景気が良くなるから。(30代・女性)

調査 3：受給者が受給開始年齢を自由に決めて良い場合、何歳から公的年金を受給しますか？

最も多かったのは「65～69歳」(43.0%)となっており、「60～64歳」の31.4%と合わせると、約3/4の人が60代での受給を希望しました。一方で、70代以上を選んだ人も約2割いました。



「60代」を選んだ人は自分が早く死んでしまうことを危惧している人が多く、定年と共に受給して余暇を楽しみたいという意見が多く見受けられました。一方、「70代以降」を選んだ人は年金をあてにしていない若年層か、現在も働いていて収入があるシニア層がメインとなっています。

●「60代」での受給を選んだ理由

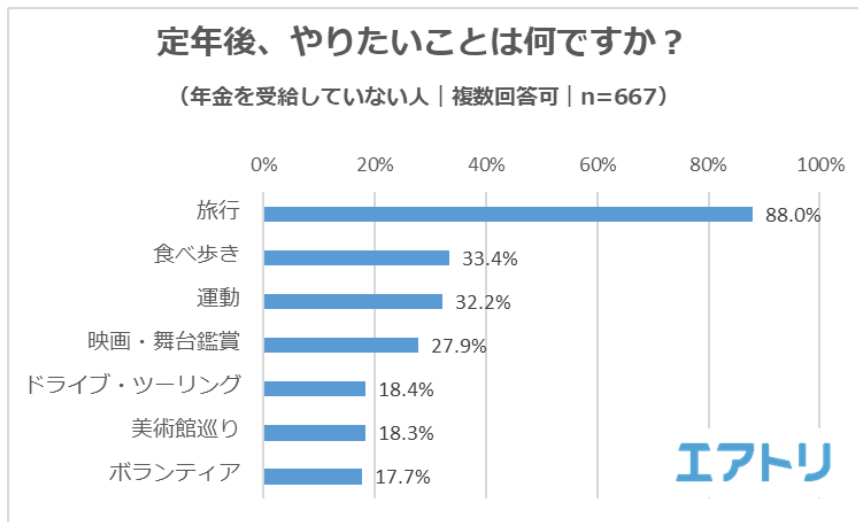
- ・自分の寿命がわからないので、金額よりも開始時期を重視したい。(60代・男性)
- ・体がつらくなならない年齢でもらう。健康のうちに旅行したい。(60代・男性)
- ・体力的とか社会状況で就職するのが難しく働けなくなるのがこの年齢のような気がする。(60代・女性)

●「70代以降」での受給を選んだ理由

- ・個人的に年金をあてにしていないから。(30代・男性)
- ・今は必要ない、老後の生活受給額を少しでも多くしたいと思います。(60代・男性)

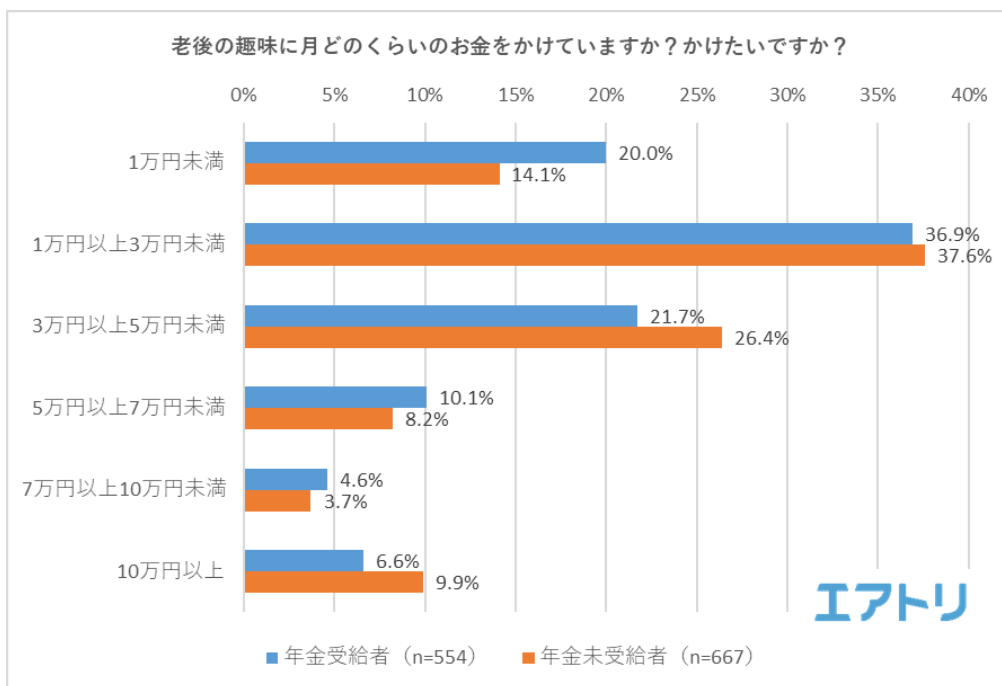
調査 4：(年金を受給していない人に対し) 定年後にやりたいことは何ですか？

圧倒的大差で「旅行」(88.0%)が1位となりました。2位の「食べ歩き」(33.4%)いずれもお金の掛かるものが上位を占める結果となりました。



調査5：老後の趣味に月どのくらいのお金をかけていますか？(年金受給者) かけたいですか？(年金未受給者)

年金受給者、未受給者共に1位は「1万円以上3万円未満」(年金受給者：36.9%、年金未受給者：37.6%)、続いて「3万円以上5万円以下」(年金受給者：21.7%、年金未受給者：26.4%)となりました。興味深いのが、「1万円未満」しか使っていない年金受給者が2割いるのに、年金未受給者の中で「1万円未満」と回答したのは14.1%しかいなかったことです。反対に、「10万円以上」は年金受給者では6.6%だったのに対し、年金未受給者は9.9%となりました。一部の年金未受給者は現実よりも夢が膨らんでしまっているようです。



■調査概要

調査タイトル : 「公的年金」に関するアンケート調査
 調査対象 : 20代～70代の男女 1,211名
 調査期間 : 2019年5月9日～5月13日
 調査方法 : インターネット調査
 調査主体 : 株式会社エアトリ

本件に関するお問い合わせ先
 株式会社エアトリ PR担当：稲葉
 TEL:03-6866-5975 FAX:03-6866-5979
 E-Mail: media-pr@airtrip-corp.com